

## ワイズ・YMCA パートナースhip 推進を目指して

### ・各部における YYY フォーラム開催支援

2019 年 3 月 3 日に開催された、九州部 YYY フォーラムの実施報告書をご紹介します  
(報告書は次ページから)。

YYY フォーラム開催にあたり、西日本区の皆様にご協力いただいております、YMCA サービス・ユース資金から支援を行っております事をご承知おき下さい。

今回の九州部 YYY フォーラムをきっかけとして、5 月から熊本 YMCA の各拠点において、ワイズメンズクラブの活動を展示・紹介するコーナーを設置される事が決定しました。

展示・紹介される内容は主に 2 種類、「ワイズメンズクラブ全体の紹介」と「クラブがそれぞれの拠点を支えるために行っている活動についての紹介」となるそうです。このような先駆的取り組みが熊本から九州部全体に広がり、『入りたくなるワイズ・支えたくなる YMCA』の推進に繋がることを期待致します。

### ・STEP(ユース短期交流事業)生、スリランカより西日本区に来訪

MS.PAHANI FERNANDO さんが 4 月 5 日から 22 日まで西日本区内に滞在されます。

びわこ部草津クラブ副会長 一井伸介ワイズ、京都部京都センチュリークラブ会長 大槻信二ワイズ、同副会長 片山吉章ワイズがホストファミリーとして受け入れをされます。

4 月 14 日(日)は京都 YMCA リトリートセンターの“夜桜フェスタ”、18 日(木)は京都センチュリークラブ例会に参加されます。

STEP プログラムとはどのようなものか興味のある方、また、スリランカのユースと交流したいという方は、京都センチュリークラブ会長 大槻ワイズもしくは西日本区国際・交流事業主任 中井信一ワイズへご連絡を。

### ・JAPAN WEST “Action!” コーナー 情報提供のお願い

西日本区 HP 上で 8 月より運用を開始しておりますが、掲載情報を募集中です。

皆様のクラブで行っておられる Y サ・ユース事業、地域奉仕・環境事業の情報を当コーナーにお寄せ下さい。

## YYY フォーラム報告書

- 実施日：2019年3月3日(日) 14:45～16:30
- 実施会場：熊本中央センターYMCA
- 参加者：53名[YMCAスタッフ、留学生、ワイズメン]
- 事業目的：ユース、YMCAの活動を通して、ワイズの役割、関わり方について意見交換を行うことで、それぞれの活動が「3つのY」にどのように繋がっているのかを互いに知っていただく事で、今後の各クラブにおけるYサ・ユース事業の更なる推進に繋げることを目的に事業を行いました。
- 事業内容：

### 第1部 YMCAスタッフ、留学生、ワイズより活動報告

- ・守田 愛沙 (熊本YMCAスタッフ)
- ・神保 勝己 (熊本YMCAスタッフ)
- ・ドン ラクバ (留学生 ネパール)
- ・福島 貴志 (熊本スピリットクラブ会長)

### 第2部 テーマ①「ユースの現状、関係について」

最近のユース、YMCA、ワイズの活動内容について討論する。  
特にワイズは、高齢化が進み若いリーダーと同じ目線で目標に向かっていくためのサポートの仕方について意見してほしい。

(6グループ ディスカッション 20分)

#### 【内容】

- ・資金面の支援
- ・計画的に支援したいが、見直しが必要。
- ・ゴールある支援
- ・ユースリーダーはワイズのことを理解していない。
- ・運営委員会に委員でない人も出席してはどうか。
- ・ワイズから留学生に奨学金を出している。
- ・出会い、機会をあたえられているか。
- ・ユースが少ない。(※金銭の問題)
- ・ワイズを使っていない。
- ・学生時代にYMCAにかかわった人をその後どのように続けていくか。  
(※学生と社会を続けていく事業的な物が必要になる。  
例えば、職業の斡旋。)
- ・リーダー感謝会を開催している。
- ・地域社会からみたワイズの存在価値が低下しているので、進化する必要

- がある。また、保護者とのかかわりもより一層深めるべきである。
- ・地域活動への参加を周知していく。
  - ・YMCAスタッフとワイズとの交流。
  - ・ユースへの経済的な支援。
  - ・学び不足。ワイズからの経験値の提供。
  - ・正直接点がない。話は聞くが、ワイズとユースの交流の場をもてればと思う。
  - ・ユースがどういう人なのか、何をもってユースなのか理解ができていない。
  - ・ユースからとワイズからの情報発信が必要。

### 第3部 テーマ②「3つのYの将来について」

世代を超えた関係を構築するにはどうしたらいいのか。また、九州部として、各クラブとして3つYとの関わり方について討論する。  
(6グループ ディスカッション 20分)

- ・例会にリーダーを呼ぶ。
- ・掲示板を作る。写真付で紹介する。
- ・ワイズとYMCAスタッフの連絡を密に行う。
- ・各クラブで意識して会議の報告をしてもらう。
- ・例会での交流。
- ・連絡主事が学生を巻き込んで例会やイベントに参加させる。
- ・潜在的ニーズを早くキャッチして新しいことへのチャレンジをする。
- ・ゲーム社会、スマホ世代に、色々な体験をして視野を広げてあげる。
- ・3つのYの繋がりが少ない。参加する人はいつも同じメンバー。かかわりを増やさないと発想や協力もできない。
- ・リーダーへの憧れからユースが育てばYMCAは成長する。
- ・各施設のリーダーとの繋がりを広げていく。また、各施設ごとではなく、全体で協力して取り組む。
- ・職場体験。
- ・ワイズ側に「何かしてほしい」というリクエストをしてほしい。直接は言えないだろうから連絡主事に言ってほしい。そして、支援したあと、報告をする。次につながる。(※システム作り)
- ・卒業したリーダーの組織化。
- ・ユースリーダーの連絡会。
- ・今の子供たちは大人との交流が少ないので、ワイズで大人との交流ができる機会を増やす。それは、財産になる。

- ・ワイズメンの特技を YMCA スタッフに把握してもらおう。ユースが何かしてほしいときに、依頼に対応できる。

#### 第4部 発表 (各3分×6グループ)

総評 Yサ・ユース事業主任 人見 晃弘  
九州部部長 上村 眞智子

#### ○事業結果：

YYY フォーラムを開催するにあたり、YMCA のスタッフ 8 名、ネパールからの留学生 2 名が参加していただき、53 名で「3つのY」について討議しました。

まずは、YMCA スタッフ、留学生、クラブの会長より日頃の活動や各事業に参加して感じたこと、また日本に来て改めて感じたこと、不安に思ったことを話していただき、夢についてや YMCA の魅力、ワイズの特性などの話を聞くことができました。

次に、グループディスカッションでは、2つのテーマについて討議しました。携わり方次第では、まだまだ可能性を秘めた活動、サポートのやり方があると感じることができました。何より、ワイズのサポート、方向性は間違っていないと思いました。あとは、やり方、関わり方です。九州部として、早急に改善、再構築すべきことは、ユース、YMCA、ワイズが積極的に交流ができる環境整備、システム作りであると感じました。まずはできることから。例えば、ワイズのメンバーの写真付の自己紹介を YMCA に掲示する。3つのYが線ではなく、円で繋がっていける魅力ある組織を作っていければと思います。これがワイズメンの獲得につながればと期待致します。

YYY フォーラム終了後に、懇親会を開催しました。お互いに短い時間ではなかなかお話ができませんでしたので、YMCA のスタッフ、留学生を招待しまして、改めて日頃の活動や思いを聞く場を作りました。色々なお話を聞くことでたくさんの気づきやアイデアをいただき、ワイズメンズクラブの存在価値を各クラブが、各自が感じていただけたのではないのでしょうか。これからも「3つのY」が同じ気持ちで、同じ目標、夢を持ってやり続けるためにも、このような交流の場を定期的で開催し意見交換をすることが大切であると痛感いたしました。参加していただきました皆様、お疲れ様でした。ありがとうございました。



YMCA スタッフ 守田さん



留学生 ドン ラクバさん



スピリット会長 福島さん



ワーク風景



ワーク風景



ワーク風景



総評 上村九州部部長



総評 人見 Y サ・ユース事業主任

九州部 Y サ・ユース事業主査  
松永 英明